

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	認定農業者等経営改善推進事業	所管	市民経済部 農政課
			Tel 2998-9158

事業の目的 (何の為に 行うか)	認定農業者が、農業経営を改善するための機械や施設整備に対して補助事業を実施する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	認定農業者及び認定農業者を含んだ農家集団	対象とした数	0
		実際に 利用した数	0

活動の内容	(何を したか)	①気象条件等に左右されずに農産物の生産に寄与する施設②農作業の省力化、効率化が図られる施設や機械整備③環境にやさしい所沢市資源循環型農業に資する施設や機会の整備に対して、予算の範囲内において1事業主体あたり事業費の1/2以内で135万円を限度として補助する。ただし施設の場合は180万円を限度とする。													
活動実績	項目名	気象条件左右されない農業施設	-----	単位	件	項目名	農作業の省力化、効率化が図られる施設・機械	-----	単位	件	項目名	環境にやさしい資源循環型農業用施設・機械	-----	単位	件

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	0	0	0	0.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率			
	農業経営改善計画の達成割合		-----	単位	件	単位	件	単位

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]									
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止									
	予算	現状どおり * 増額 減額 終了									

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了										
	総合 評価	* 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了									
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了									

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課コード 031200   Tel. 2998-9158
事業コード 031211	認定農業者等経営改善推進事業	
開始年度 平成 20 年度 → 終了年度 平成 年度		部課 市民経済部 農政課 グループ 振興

②事業の概要	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針 所沢市地域農業マスタープラン	
	関連・類似事業	
	総合計画の体系 政策 第5章にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち 施策 1節 農業 中柱 2 経営基盤の強化 小柱 (1)農業経営の安定化の推進	
	H19市民意識調査における施策の順位...43施策中 21 位 実施計画における位置づけ... H19 ***   H20 A	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	
	事業開始の背景 市は農業経営基盤強化促進法に基づいて認定を受けた者(認定農業者)が、農業経営改善計画を作成し、その計画を実現するために意欲を持って農業に取り組んでいく農業生産者に対して集中的・重点的に補助を行う。これまでに実施していた農産物生産振興事業、茶生産振興事業、所沢市資源循環型農業推進事業の3事業を廃止し、新たに標準事業として統合した。	

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に) 認定農業者が、農業経営を改善するための機械や施設整備に対して補助事業を実施する。
	対象(誰を、何を対象としているのか) 認定農業者及び認定農業者を含んだ農家集団
	利用数の考え方 補助を受けた認定農業者及び農家集団
	対象数 単位 平成 18 年度 平成 19 年度 利用数 単位 平成 18 年度 平成 19 年度
	事業の具体的な内容及び実施方法 ①気象条件等に左右されずに農産物の生産に寄与する施設②農作業の省力化、効率化が図られる施設や機械整備③環境にやさしい所沢市資源循環型農業に資する施設や機会の整備に対して、予算の範囲内において1事業主体あたり事業費の1/2以内で135万円を限度として補助する。ただし施設の場合は180万円を限度とする。

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>
	総合評価 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] ) 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )
	予算 <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点

⑤経費	《会計種別》 一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算			15,750
	決算 (見込み含む)			
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 )	( 人 ) ( 人 )	
	正規職員人件費	人	0	0
	公債費			
	事業費合計	0	0	0
	財源内訳			
	一般財源	0	0	15,750
	国・県支出金			
	受益者負担金			
	市債			
	その他			
	市民一人当たり(単位:円)		0.0	0.0
	利用数一単位あたり(単位:円)	***	***	

⑥指	活動実績	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
		気象条件左右されない農業施設	導入件数	件			3	
		農作業の省力化、効率化が図られるし施設・機械	導入件数	件			4	
		環境にやさしい資源循環型農業用施設・機械	導入件数	件			3	
標	成果分析	農業経営改善計画の達成割合		件	目標値		10	
				%	実績			実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 見直しの必要性 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 見直しの必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	補助事業を要望する農家は増加しているが、予算が限られているため、要望どおりに補助事業を進めることが困難である。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定 事業内容の周知を図るためにチラシの作成を行う。	卸売市場出荷者や直売農家へチラシを配布して周知を図る	4月中	
	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )		
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	19年度まで実施していた「農産物生産振興事業」「茶生産振興事業」「資源循環型農業推進事業」を統合し、認定農業者の農業経営改善計画の達成のために必要な施設、機械の整備について認定農業者個人に補助することとしたもので、事業の対象範囲が広がったことなどもあり、今後、多くの認定農業者に活用を図っていく。		
	評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名	農政課長 越阪部孝夫

⑧二次評価	事前評価	部内優先順位... 26 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		評価理由	従来の3事業を、個人でも使いやすいよう本事業に統合した点は評価する。本事業では、経営改善の結果として収益増が達成されることが重要なため、当該経営改善計画の妥当性の確認や、支援後の進捗管理による検証が必須である。なお、現在当該補助への希望者は多いが、厳しい財政状況などを踏まえ、補助率の見直し等を含め予算の効果的配分について検討されたい。					
	評価日	9月1日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 有り	計画コード	213
	施策の体系	2-1緑地の保全	施策の方向	2-1-3農地保全の推進
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			